



UG4000D/ UG6000D/ UG7500 スプレーガンクリーナー 標準作業手順

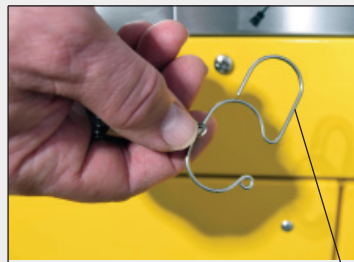
事前洗浄：

- ・スプレーガンをエアラインから取り外し、カップを外す。
- ・溶剤を塗料流路に注入し、廃溶剤が廃棄容器（別売り）に排出されるようにする。右側の写真を参照。従来型カップを使用している場合は、塗料を廃棄容器に排出する。



スプレーガンの洗浄準備：

- ・エアキャップを 2 回転緩める。
- ・右側の写真の通り、トリガーロックスプリング（型番：120-350）を使用し、トリガーを開位置に固定する。



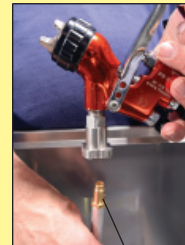
トリガーロックスプリング

トリガーロック
スプリング
所定位置にセ
ット済み

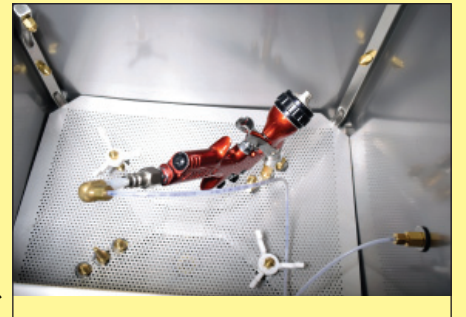


スプレーガンを洗浄槽に設置：

- ・スプレーガンに最も適合するノズルエクステンションを選択する。洗浄槽内に固定型ノズルエクステンションが装着されており、付属キットに押し込み式ノズルエクステンションが同梱されている。・使い捨てカップシステムを使用するスプレーガンの場合、カップアダプターを洗浄するため、側面に穴のあるノズルエクステンションのみ使用可能です。・スプレーガンを洗浄槽内のノズルエクステンションにセットし、エアキャップをコーナーに向けてください。右側の写真を参照。



ノズルエク
ステンション



スプレーガンのエア通路に溶剤が侵入するのを防ぐため：

- ・白色のプラスチック製プラグをスプレーガンのエアフィッティングに挿入する。・エアフィッティングを取り外した場合は、トリガーロックスプリングに取り付けられているローレットナットをスプレーガンのエア通路に取り付ける。

エアプラグ
（型番：140-230）



洗浄サイクル：

- ・洗浄槽の蓋を閉め、「自動洗浄タイマー（Auto Wash Timer）」を時計回りに回して洗浄を開始します。洗浄サイクルは約 60 秒です。
- ・「エアリンス（Air Rinse）」ボタンを押し続け約 2 秒間、洗浄溶剤を排出します。
- ・「クリーンリンス（Clean Rinse）」ボタンを押し続け約 2 秒間、クリーン溶剤 100cc を噴射口に送り、スプレーガンをすすぎます。クリーンリンスはクリーン溶剤の消費を最小限に抑えるため、溶剤 100cc に制限されています。クリーンリンスを再使用する前に、リンスポンプが補充されるよう 30 秒間待ちます。
- ・「エアリンス」ボタンを押し続け約 2 秒間、ガンをエアリンスします。
- ・スプレーガンの洗浄後、ガンを槽から取り出し、乾拭きします。スプレーガンとカップを洗浄槽に保管しないでください。
- ・スプレーガンクリーナーに飛散した塗料を洗浄します。

自動洗浄
タイマー

エアリン
ス



ブラシ流量
コントロール

クリーンリンス

注意：UG7500 のコントロールの位置は、上記の写真に示されている位置と異なります。

流通式ブラシの使用方法：

- ・フットペダルを踏んで洗浄溶剤をブラシに送り、スプレーガンを洗浄します。右側の写真を参照。
- ・溶剤流量は工場出荷時に設定されていますが、エアリンスボタンの下方にあり、右上の写真に示されている「ブラシ流量コントロール」を使用して調整することができます。
- ・流量を増やすには、ロックナットを緩め、ダイヤルを反時計回りに回転させた後、ロックナットを締め付けます。



流通式ブラシ

詳細な操作方法については、ご使用のユーザーマニュアル、またはテクニカルサポートサイト www.uniram.jp に掲載されているユーザーマニュアルを参照してください。



UG4000D/ UG6000D/ UG7500 スプレーガンクリーナー 月次保守

手順：

- 1) 洗浄溶剤桶とクリーンリンス桶の溶剤残量を確認する。
 - ・洗浄溶剤桶の残量が 75% 未満の場合、75% のマークまで補充する。
 - ・クリーンリンス桶の残量が 75% 未満の場合、100% まで補充する。
 - ・洗浄後のスプレーガンがベタつく場合、または 100 回以上洗浄した場合、以下の手順（A）に従って洗浄溶剤桶の溶剤を交換する。
- 2) 洗浄溶剤桶内に配置されたステンレス鋼製吸込フィルター（型番：104-4310S）を清掃する。以下の手順（B）に従う。
- 3) 洗浄溶剤タイマー、リンスポンプ、ブラシの動作を確認する。
 - ・機器が正常に動作しない場合は、マニュアルのトラブルシューティングガイドを参照する。
 - ・ブラシから液体が流通しない場合、流量制御バルブが完全に開いていることを確認する。
 - ・トリガークリップ（型番：120-350）とノズルエクステンションが存在することを確認する。必要に応じて、ワイヤークリーニングツールを使用して全ての噴射口を清掃する。

(A) 洗浄溶剤の交換手順

- ・クリーンリンス桶からリンスポンプを取り外し、該桶をキャビネット外部に移動させる。以下の最初の写真を参照。クリーンリンス桶に洗浄溶剤を充填する。



洗浄溶剤桶 クリーンリンス桶



排水バルブ



洗浄溶剤桶



排水ホース
吸込チューブ
吸込フィルター
フィルター付き吸込チューブ

- ・排水バルブを閉める（水平位置）。上記の 2 枚目の写真を参照。排水ホースを取り外し、洗浄溶剤桶から吸込チューブを引き上げた後、洗浄溶剤桶をキャビネット外部にスライドさせる。上記の 3 枚目および 4 枚目の写真を参照。
- ・使用済みの洗浄溶剤を廃液ドラムに注ぎ込む。必要に応じて洗浄溶剤桶を清掃する。洗浄溶剤桶に排水ホースと吸込チューブを取り付け、該桶をキャビネット内に戻す。排水バルブを開け、上方の洗浄槽に溶剤を注ぎ、洗浄溶剤桶が 4 分の 3 目まで満たされるようにする。リンスポンプをクリーンリンス桶に戻し、該桶をキャビネット内に配置する。排水バルブが開位置（垂直位置）にあることを確認する。

(B) 洗浄溶剤桶内金属吸込フィルターの清掃手順

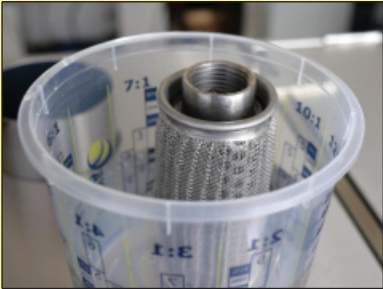
- ・可取り外し式の金属吸込フィルターは、洗浄溶剤桶内の吸込チューブの先端に設置されています。以下の 1 枚目の写真を参照。この吸込フィルターは、異物がポンプや洗浄槽に侵入するのを防止します。
- ・手順 A に従って洗浄溶剤桶をキャビネットから取り出した後、以下の 2 枚目の写真のように吸込チューブを取り外します。
- ・チューブから金属吸込フィルター（型番：104-4310S）を緩めて取り外し、コップに入れたクリーン溶剤で清掃します。以下の 3 枚目の写真を参照。フィルターは手でのみ締め付けてください。



洗浄溶剤桶



金属吸込フィルター



溶剤中の清掃済み金属フィルター